



WA : L' H A R M O N I E  
A U Q U O T I D I E N  
D E S I G N J A P O N A I S D' A U J O U R D' H U I

武蔵野美術大学 美術館棟リニューアル開館記念

WA:現代日本のデザインと調和の精神

世界が見た日本のプロダクト — Paris, Budapest, Essen, Warsaw, Saint-Etienne, Seoul and Tokyo

2011.6 | 24 | fri | - 7 | 30 | sat | 武蔵野美術大学 美術館展示室

開館時間:10時~18時(土曜日17時まで) ※7月18日(祝日)は特別開館(10時~17時) / 休館日:日曜日、祝日 / 入館無料

主催:武蔵野美術大学 美術館 企画:国際交流基金、武蔵野美術大学 造形研究センター / 協賛:芸術文化振興基金

MWU M&L

武蔵野美術大学 美術館 図書館

JAPAN FOUNDATION 国際交流基金

## 「現代のデザインにおける日本(和)とは」

この展覧会は国際交流基金により、2008年、パリで開催され、その後、2011年3月までに、ブタペスト、エッセン、ワルシャワ、サンティエヌ、ソウルと巡回してきました。今回の武蔵野美術大学 美術館・図書館での開催は、帰国展となります。世界が見た日本のデザインを、あらためてわたしたち自身で見直すことで、自らのデザインの現在を再認識し、またこれからのデザインを考えていく指針となる展覧会となります。

日本には、「和一WA」という伝統的な精神があります。さまざまな価値、さまざまなひとびと、さまざまな立場、対立する項

を融和し、より高次元なレベルで統合しようとする精神です。21世紀の現代日本デザインの活況の根底には、モノづくりにおいて、さまざまな価値や立場を統合、融合していく精神、すなわち、和の精神が根底にあるのではないのでしょうか。

本展では、プロダクトデザインのさまざまなフィールドから優れたデザイン約160点を選びだして紹介し、現代日本デザインのダイナミックな動きとその背景となる事象を紹介します。そして、展示を通して、現代のプロダクトデザインにおける日本(和)的なもののありかを指し示します。

監修 柏木 博 (本学教授)



©株式会社オゼキ

1



©エバグリーンインターナショナル

2



©株式会社マルニ木工 / 写真：川部米郎

3



©アッシュコンセプト

4



©ヤマハ株式会社

5



6



©イクスシーエディション

7



写真：林雅之

8



9



©セイコーインスツル株式会社

10

1 あかり 1AT | イサム・ノグチ | 株式会社オゼキ | 1952 2 オーバス-1 ネロ | 岩崎一郎 (IWASAKI DESIGN STUDIO) | 有限会社エバグリーンインターナショナル | 2008 3 HIROSHIMA | 深澤直人 (NAOTO FUKASAWA DESIGN) | 株式会社マルニ木工 | 2008 4 アニマルラバーバンド | バスキーデザイン | アッシュコンセプト | 2002, 2004, 2007 5 MODUS F11 | ヤマハデザイン研究所 | ヤマハ株式会社 | 2007 6 NISSAN GT-R (1/4モデル) | 日産自動車デザイン本部 | 日産自動車株式会社 | 2007 7 MEMENTO | TONERICO:INC. (米谷ひろし, 増子由美) | 株式会社カッシーナ・イクスシー | 2006 8 INFOBAR, INFOBAR 2 | 深澤直人 (NAOTO FUKASAWA DESIGN) | KDDI株式会社 | 2003, 2007 9 Tear Drop | 吉岡徳仁 | ヤマギワ株式会社 | 2008 10 OVO | 山中俊治 (LEADING EDGE DESIGN) | セイコーインスツル株式会社 | 2007

### WA展の企画

#### 「4人のキュレーション」

本展は海外巡回展として国際交流基金が計画し、柏木 博、深川 雅文、萩原 修、川上典李子の4人のキュレーターによって企画されました。

### 展示について

#### 「展示作品の構成」

分かりやすい展示構成を目指して、美術館の大小3つの展示室を使い、いくつかのコンセプトに分けて現代日本のプロダクトデザイン約160点を展示します。わたしたちの感覚や思考や意識して文化を表象するプロダクトデザインを、いくつかの重要なテーマごとに分けて理解しやすく展示することで、日本の現在を読みといていきます。

### 世界が見た日本デザイン

世界6都市を巡回したWA展を通して、日本のプロダクトが各国でどのような評価や反響を得たのか、各会場の風景や資料とともに紹介します。

### 調和の精神

新しいものと古いもの、先端技術と伝統文化、人工と自然、グローバルとローカル、日本的なものと西洋的なもの、遊びと実用、感情と理性…日本のものづくりの現場では、対立する概念が互いに結びつき、作用し、調和するようにして、新しい価値やかたちを創出しています。現代日本のデザインの特徴として、これら「調和の精神」を象徴する作品を展示します。

### 12のカテゴリー 6のキーワード

現代の日本を表象するプロダクトデザインの特徴を、分かりやすく「12のカテゴリー」と「6のキーワード」のセクションに分けて展示します。

○12のカテゴリー (日本の現代生活が見える、道具としての分類)

1. 食器 2. 水まわり 3. 家電 4. 情報 5. 玩具 6. 文具 7. 雑貨 8. ウェア 9. 包みとバッグ 10. 乗り物 11. 家具 12. あかり

○6のキーワード (日本デザインの特徴的な概念や感覚、あるいはテイスト)

1. かわいい 2. クラフト 3. 木目 4. 手ざわり 5. ミニマル 6. 心くばり

### 関連イベント

シンポジウム:  
世界が見た日本の現代プロダクト  
(仮称)

WA展の企画や制作に携わった方々のレクチャーを予定。世界を巡ったWA展を通じて、現代日本のデザインを振り返る。

パネリスト(予定):  
柏木 博、深川雅文、萩原 修、川上典李子、トネリコ、山下裕子、松下 計 他  
日時: 2011年6月27日[月] 16:30~  
会場: 武蔵野美術大学

※他詳細はウェブサイトをご確認ください。

### 同時開催

#### ムサビのデザイン

コレクションと教育でたどるデザイン史

開館以来収集してきたデザイン資料と、本学で行われてきたデザイン教育で近代デザイン史を辿る。

会期: 2011.6.24[金]-7.30[土] 会場: 武蔵野美術大学 美術館展示室

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736  
TEL.042-342-6003 / FAX.042-342-6451

武蔵野美術大学 美術館・図書館 <http://mauml.musabi.ac.jp>

・西武国分寺線「鷹の台」駅下車徒歩20分  
・国分寺駅北口よりバス「武蔵野美術大学前」下車すぐ(バス所要時間 約20分)



(写真 C.O.Meylan)

パリ日本文化会館 フランス・パリ、2008  
展示デザイン TONERICO:INC.

